

全 体 評 価

「学識経験者の意見」

・新居浜市教育委員会は、教育基本方針の具現化を目指し、各課重点目標を設定し積極的に事業を推進しています。また、前年度の点検・評価に関する意見書も勘案いただき進展させ、達成度を上げています。各課の成果は高く評価します。特に、学校教育課では、一人ひとりの子どもの持っている特性、個性を自主的に伸ばしていこうとの方策を創出し、力の育みを感じられ、子どもの生き生き度が高まりつつあることが実感できます。発達支援課の取組と成果は、全国的にもトップレベルと言って過言ではないでしょう。益々の拡充を期待します。また、社会教育課も年々進展めざましく、地域の中に「子どもは地域の宝」的思いが醸成されつつあり、子どもが地域の中で安心していられる居場所づくり、郷土の歴史、特色を伝え、共に学び交流する、地元に残る伝統行事、お祭りを共同体験していく等と、まちづくりの主役に子どもを置き、地域みんなで自分たちのまちを作っていこうという意識が高まりつつあり、未来性を感じ心強く思います。

・3月11日の東日本大震災は未曾有の被害を残し、日本のみならず世界中の人々が心を痛めました。その哀しみの中からみんなが力をもらい希望をもらったのは、子どもたちの元気な声、明るい笑顔、前向きの姿勢からでした。支援の輪の拡大、復旧復興を加速させる原動力となりました。子どもの力は偉大です！！子どもの豊かな心の育成を中心に据えた本市の教育行政の益々の拡充、進展を望みます。

・昨年度の評価を真摯に受け止めていただき、各課各館が前向きに前進し、改善に取り組んでいただいていることに対し、敬意を表したいと思います。

今後もそうした姿勢を継続し、市民に愛され、より一層評価される教育委員会になれることを希望いたします。

参 考 资 料

平成23年度教育委員会自己点検・評価事務事業等一覧表（73事業）

| 担当課所 | 事業番号 | 事務事業名 | H23 学識 経験者 意見 | 自己点検評価 | | | | | | 備考 | |
|-------|-----------|-----------------------------|------------------------|----------------------|-----|-----|----------------------|-----|-----|----|--|
| | | | | 妥当性 | 効果性 | 効率性 | 妥当性 | 効果性 | 効率性 | | |
| | | | | H23年度評価 (H22年度事業) | | | H22年度評価 (H21年度事業) | | | | |
| 社会教育課 | 1 | 社会教育団体育成費 (市PTA連合会活動補助金) | | B | C | C | B | C | C | | |
| | 2 | 公民館いきいきプラン推進事業 | ○ | A | C | B | A | B | C | | |
| | 3 | 放課後子ども教室推進事業 | ○ | A | B | B | A | B | B | | |
| | 4 | 公民館活動リーダー「志縁人養成塾」の開設 | ○ | A | C | B | A | C | C | | |
| | 5 | 公民館管理運営費 | | B | B | B | B | B | B | | |
| | 6 | 公民館生涯学習事業 | | B | C | C | B | C | C | | |
| | 7 | 公民館職員研修事業 | | B | C | C | B | C | B | | |
| | 8 | 公民館施設環境整備事業 | | A | B | A | A | A | B | | |
| | 9 | 成人式開催事業 | | B | B | C | B | C | C | | |
| | 10 | こども夢未来事業 | | A | B | C | B | B | B | | |
| | 11 | 学校開放事業 | | B | B | B | B | B | B | | |
| | 12 | 子ども見守り活動 | | A | B | B | A | B | B | | |
| | 13 | こころのこたばコンクール事業 | | A | A | B | A | A | B | | |
| | 14 | 別子ハイツ自然学習館管理事業 | | B | C | B | B | C | B | | |
| | 15 | 学校支援地域本部事業 | ○ | A | B | B | A | B | B | | |
| | (青少年センター) | 16 | 地域交流センター建設事業 | | B | B | B | B | B | B | |
| | | 17 | 校区まちづくりプラン推進事業 | | A | B | B | A | B | C | |
| 18 | | 補導活動充実費 | | A | B | B | A | B | B | | |
| 学校教育課 | 19 | 教育懇談会 | | B | C | C | B | C | C | | |
| | 20 | 子ども会議 | | A | A | B | A | A | B | | |
| | 21 | 新居浜市小・中学生科学奨励賞 | ○ | A | A | A | A | A | A | | |
| | 22 | 子ども環境サミット | | A | B | B | A | B | B | | |
| | 23 | 奨学金 | | A | B | B | A | B | B | | |

平成23年度教育委員会自己点検・評価事務事業等一覧表（73事業）

| 担当課所 | 事業番号 | 事務事業名 | H23 学識 経験者 意見 | 自己点検評価 | | | | | | 備考 |
|-------|-------------------|-------------------------------------|------------------------|----------------------|-----|-----|----------------------|-----|---------|-----------|
| | | | | 妥当性 | 効果性 | 効率性 | 妥当性 | 効果性 | 効率性 | |
| | | | | H23年度評価 (H22年度事業) | | | H22年度評価 (H21年度事業) | | | |
| 学校教育課 | 24 | いじめ・不登校問題等対策費 (適応指導教室) | | A | B | B | A | B | B | |
| | 25 | 中学生海外派遣研修事業 | | A | B | B | — | — | — | H21事業中止 |
| | 26 | 生きた英語教育推進事業 | | A | B | B | A | B | B | |
| | 27 | 小学校教育充実費 | | A | A | B | A | A | B | |
| | 28 | 中学校教育充実費 | | A | A | B | A | A | B | |
| | 29 | 小学校施設環境整備事業 | | A | B | C | A | B | C | |
| | 30 | 中学校施設環境整備事業 | | A | B | C | A | B | C | |
| | 31 | 小学校耐震補強対策事業 | | A | A | B | A | A | B | |
| | 32 | 中学校耐震補強対策事業 | | A | A | B | A | A | B | |
| | 33 | 小学校教育用コンピュータ整備費 | | B | B | C | B | B | C | |
| | 34 | 中学校教育用コンピュータ整備費 | | B | B | C | B | B | C | |
| | 35 | 小学校教育研究県指定校事業 | | A | A | B | — | — | — | H21指定事業なし |
| | 36 | 中学校教育研究県指定校事業 | | A | A | B | — | — | — | H21指定事業なし |
| | 37 | 小学校夢広がる学校づくり推進事業 | | A | A | B | A | A | B | |
| | 38 | 小学校ハートなんでも相談員設置事業 | ○ | A | B | B | A | B | B | |
| | 39 | 中学校ハートなんでも相談員設置事業 (スクールカウンセラー設置) | | A | B | B | A | B | B | |
| | 40 | いじめ・暴力から身を守る学習事業費 | | A | B | B | A | B | B | |
| | 41 | 私立幼稚園私学助成費 | | B | B | B | B | B | B | |
| | 42 | スクールソーシャルワーカー活用事業 | | A | B | B | A | B | B | |
| | 43 | 学校図書館活性化推進総合事業 | | A | B | B | A | B | B | |
| 44 | 中学校スポーツトップアスリート事業 | ○ | B | A | B | — | — | — | H22新規事業 | |
| 発達支援課 | 45 | 小学校特別支援教育充実費 | ○ | A | A | A | A | A | A | |
| | 46 | 中学校特別支援教育充実費 | | A | A | A | A | A | A | |

平成23年度教育委員会自己点検・評価事務事業等一覧表（73事業）

| 担当課所 | 事業番号 | 事務事業名 | H23 学識 経験 者 意見 | 自己点検評価 | | | | | | 備 考 |
|----------------------------------|---------|-------------------------|----------------------------|----------------------|-----|-----|----------------------|-----|-----|---------|
| | | | | 妥当性 | 効果性 | 効率性 | 妥当性 | 効果性 | 効率性 | |
| | | | | H23年度評価 (H22年度事業) | | | H22年度評価 (H21年度事業) | | | |
| 発達支援課 | 47 | 発達支援教育運営費 | | A | B | B | A | B | B | |
| | 48 | 発達支援教育充実費 | ○ | A | B | B | A | B | B | |
| | 49 | 幼稚園特別支援教育充実費 | | A | C | B | A | A | A | |
| スポーツ文化課 (平成22年度 体育文化課) | 50 | 青少年育成スポーツ活動費 | | B | C | C | B | C | C | |
| | 51 | 各種全国大会出場補助金 | | A | A | C | A | A | C | |
| | 52 | 駅伝大会補助金 | | B | B | B | B | B | B | |
| | 53 | 全国招待少年剣道大会補助金 | | B | B | B | B | B | B | |
| | 54 | 体育施設環境整備事業 | | B | B | B | A | B | B | |
| | 55 | 体育施設建設基金 | | A | A | A | A | A | A | |
| | 56 | 文化財保護事業 | ○ | A | B | B | A | B | B | |
| | 57 | 芸術文化振興事業 | | A | A | A | A | A | B | |
| | 58 | 文化施設環境整備事業 | | B | B | B | A | B | B | |
| | 59 | 文化振興基金 | | A | A | A | A | A | A | |
| | 60 | 国民体育大会振興費 | ○ | A | B | C | A | B | C | |
| | 61 | 市民文化センター大ホール改修計画 調査費 | | A | A | A | — | — | — | H22新規事業 |
| | (郷土美術館) | 62 | 郷土美術館充実事業 | ○ | A | A | B | A | A | B |
| (広瀬歴史記念館) | 63 | 広瀬歴史記念館充実事業 | | A | B | B | A | B | B | |
| 学校給食課 (学校給食センター) (高津共同調理場) | 64 | 給食運営事業 | | A | B | C | A | B | C | |
| | 65 | 学校給食センター管理運営事業 | | A | B | B | A | B | B | |
| | 66 | 高津共同調理場管理運営事業 | | A | B | B | A | B | B | |
| | 67 | 給食運営改善事業 | ○ | A | A | C | A | A | C | |
| 図書館 | 68 | 移動図書館運営事業 | | A | B | B | A | B | B | |
| | 69 | 図書館利用促進事業 | ○ | A | B | B | A | B | B | |

平成23年度教育委員会自己点検・評価事務事業等一覧表（73事業）

| 担当課所 | 事業番号 | 事務事業名 | H23 学識 経験 者 意見 | 自己点検評価 | | | | | | 備考 |
|------|------|---------------------|----------------------------|----------------------|-----|-----|----------------------|-----|-----|----|
| | | | | 妥当性 | 効果性 | 効率性 | 妥当性 | 効果性 | 効率性 | |
| | | | | H23年度評価 (H22年度事業) | | | H22年度評価 (H21年度事業) | | | |
| 図書館 | 70 | ブックスタート実施事業 | | B | A | B | B | A | B | |
| | 71 | 図書館整備事業 | | B | A | C | B | A | C | |
| | 72 | 地域活性化支援、行政支援、健康支援事業 | | A | B | B | A | B | B | |
| | 73 | 学校図書館支援推進事業 | ○ | A | A | B | B | A | B | |

(自己評価基準) A 非常に良い、B 概ね良い、C 普通、D やや良くない、E 非常に良くない

平成22年度点検・評価における学識経験者の意見に対する取組状況 (平成21年度事業)

担当課：社会教育課

| 学識経験を有する方からのご意見 | 取組状況 |
|--|--|
| <p>《事務事業名》</p> <p>公民館いきいきプラン推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題、現代的課題に対する公民館の取組として優れた事業といえる。 各公民館での事業に住民が企画・運営に具体的にどう関わっているか、その場合どのような課題があるかなどが分かるようにできないものか。公民館の取組が評価できるものができるか。 すべての公民館が地域主導型になるように努力してほしい。 ・総花的ではなく、特化した内容での実施も検討されたら如何でしょうか。 現役世代が、参加したがるような魅力的な仕掛けも必要かもしれませんね。 ・各公民館それぞれに地域の特性を深く見直し、歴史、文化、習慣を掘り起こし、その中から特色ある地域を創出していこうとの事業を企画し推進しつつあること高く評価します。 活動の中で世代間交流が望ましい形で図られ、大人も子どもも地域に誇りを持つ郷土愛も育まれつつあります。今までの横ならび的公民館から地域に密着した住民に役立つ公民館へと転換されつつあることを感じます。益々の本事業推進を期待します。 | <p>地域の特性を生かした世代間交流事業やボランティア活動、地域文化の掘り起こしを行い、コミュニティ活性化につながる事業や郷土愛を育む事業等を実施しています。</p> <p>平成23年度より、公民館いきいきプラン推進事業を含めた3つの委託事業を一つに統合した地域教育力向上プロジェクト推進事業を実施しています。「学ぶ、活かす、創る」を三本柱に、まずは地域課題の洗い出しをし、その課題解決を探るという循環サイクルの確立を推進してまいりたいと考えています。</p> |
| <p>《事務事業名》</p> <p>放課後子ども教室推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この事業を通して、地域コミュニティがどれだけ形成されたか。 あるいは、この事業を通して、住民の出番づくりをどれだけ進められたか。こうした視点からの見直しがあってもいいのではないか。 | <p>学習アドバイザーや安全管理員、あるいはボランティアとして参加して下さる方は増加してお</p> |

| | |
|--|--|
| <p>・より多くの公民館で実施されることを望みます。また、放課後児童クラブとの連携をもっと図るように考えたら良いと思います。</p> <p>・子どもたちが地域の中で様々な方たちに支えられ、体験を通して学び、遊べる場としてよりよい居場所になりつつあること評価します。本年度は放課後児童クラブとの乗り入れ実施も増し、拡充しつつある様です。若い地域住民の参加が少ないのが残念です。より多く参加していただける様な方策を検討され、地域住民みんなで力を出し合い未来を担う子どもたちの健全育成を目指し、一層充実させていきたいと思ひます。継続を望みます。</p> | <p>り、また、平成23年度より7教室から8教室に増設され、より一層地域に浸透し、地域の方々の参画を得ながら交流活動を実施しています。</p> <p>平成23年度から、放課後児童クラブの所管が福祉部から教育委員会へ移管され、公民館との連携が更に図れるようになってきています。若い地域住民の参加が少ないため、今後は幅広い年齢層の方々に積極的な声掛け等を行い、今なお、地域住民とのつながりを充実させ、子どもたちの健全育成を目指してまいりたいと考えています。</p> |
| <p>《事務事業名》</p> <p>学校支援地域本部事業について</p> <p>・子どもたちが地域づくりにかかわる活動を作り出せないか。</p> <p>今後、財政的な支援をどうするのか、財源なしでやれる方法は無いものだろうか。</p> <p>地域教育協議会のねらい、しくみを明確化してほしい。これが地域主導型公民館の在り方や学校教育の在り方に大きくかかわることになるでしょうから。</p> <p>・本当の意味での学校と地域の連携が進んでいなく、定着していないように感じます。学校側がもっと心底の気持ちから地域を頼ろうという姿勢が必要のように思ひます。方向性のよい事業なので、両</p> | <p>平成23年度からは委託事業ではなくなりますが、平成20年度から3カ年継続事業として行い、その中で築いてきた基盤をもとに、財源がなくても継続して行ける事業として全9本部が活動を続けています。</p> <p>今後も新たなコーディネーターの発掘・養成を行いながら、学校</p> |

| | |
|---|---|
| <p>者が熱い気持ちをもって取り組んでいただきたい。そのためには力強いコーディネーターの存在も大事ですね。</p> <p>・昨年は新規事業のため体制は整えられたが十分に支援活動推進にまではいたっていなかった。2年目を迎えた本年は積極的なPRや地域コーディネータの真摯な働きかけによって学校と地域の連携体制が拡充され、活発な活動が展開される様になり多くの成果をあげている。ボランティアの参加人数も予想をはるかに超え多くの方々の力をいただいている。学校現場の教員たちからも感謝の声が寄せられている様である。</p> <p>地域住民が職業生活や生涯学習で身につけた力や成果を子どもたちに還元していく中から支援できる喜び、感謝される喜びを体感していくことは生きがいある生活、明るい街づくりへつながっていくことと思う、更なる継続を望みます。</p> | <p>と地域の連携を深め、また子どもたちと一緒に地域づくりが行える体制作りを続けていきます。</p> |
| <p>《事務事業名》</p> <p>校区まちづくり推進事業について</p> <p>・それぞれの校区の顔の見える事業を作り出してほしい。</p> <p>校区特色主義を打ち出す必要がある。校区まちづくりのグランドデザインづくりを。</p> <p>・公民館いきいきプラン推進事業と重なる部分が多いと思うので、両方、別々でなく、一緒に実施することで効率性、効果性も上がるように思います。</p> <p>・価値ある新規事業と高く評価します。8事業ともそれぞれに自分たちの校区ならではの特色ある事業実施に熱い連帯感で挑戦し成果をあげています。地域住民主役の公民館に変わりつつあることを感じます。益々の推進を期待します。</p> | <p>新たな組織づくりを行う事業、地域住民が主体となった連帯感形成に結びつく新規事業、地域活動の情報発信を促進する事業等を実施しました。</p> <p>平成23年度より、公民館いきいきプラン推進事業等3つの委託事業を一つに統合した地域教育力向上プロジェクト推進事業に転換をしております。「学ぶ、活かす、創る」を三本柱に、まずは地域課題の洗い出しをし、その課題解決</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>を探るという循環サイクルの確立を推進してまいります。その中で、より一層の校区の特色を生かした事業が実施されることと考えています。</p> |
| <p>その他</p> <p>・地域主導型公民館へ移行していく中でどの館も自分たちの地域の歴史、文化、芸術、習慣を見直し、掘り下げて愛着を持って顕彰し次代へつないでいこうとする活動が多くなり、未来的公民館に変容しつつあります。館により温度差があり、一步一步の所もあるが、日々進展していくことと期待します。自分達の手で地域を創り出し、いこうという積極的な意欲で推進する中に地域に誇りを持つ心も芽生えている。更に各館刺激しあい競い合って特色を出していこうとする気風さえ醸成されつつあることは素晴らしい。従来の趣味的レクリエーション的な講座、活動から一歩進展して地域の子どもたちをみんなで豊かに育んでいこうとする子育て支援的な行事活動が増加しつつあることは望ましい。公民館活動への協力者が増えつつあるが、青壮年層の方々の一層の増加を課題として検討いただきたい。</p> | <p>平成23年度から実質的に全公民館が地域主導型公民館へ移行しています。それに伴い、従来の3つの委託事業を一つにまとめた地域教育力向上プロジェクト推進事業を実施しています。この事業は、地域住民自らが課題を見つけ、解決を行なうことを推進するものであり、地域住民が話し合う中での人と人とのつながりの強化を図るものです。</p> <p>その中で、現在の地域活動の課題でもある協力者の固定化、活動内容等の改善に向けて、助力していきたいと考えています。</p> |

担当課：学校教育課

| 学識経験を有する方からのご意見 | 取組状況 |
|--|---|
| <p>《事務事業名》 教育懇談会について</p> <ul style="list-style-type: none"> 懇談会での懇談内容を出席者だけでなく、地域の人たちに伝えていく工夫がいる。 <p>学校のグランドデザインの説明であれば、学校ごとに開催する必要がある。</p> <p>学校支援地域本部ごとに「地域教育協議会」が組織されている。ここが呼びかけて集める方がいいのではないかと。というのは、この協議会は各団体、機関、企業、NPOなどで構成されているはずだから。懇談会にはもってこいの組織と言える。 <ul style="list-style-type: none"> 広く薄い、数を目的とした事業とするか、実質的議論をする場とするかで内容も変わってこようと思うが、今は少しどっちつかずの感があります。 <p>これも現役がでてくる仕掛けづくりが必要ですね。</p> <p>(PTAの協力を得た開催は、仕掛けの一例としてよかったですね。)</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な工夫や改善により参加者は増加しています。しかし、その内訳は子どもの育成に関心を持って下さる地域の年輩者の増加が大きい。ありがたいことではありますが、保護者自身の参加増を目指して厳しい課題でしょうが、創意工夫を重ねチャレンジし、教育行政の取組をじかに的確に理解していただき、ご意見もいただける懇談会にしていって下さい。 </p> | <p>開催にあたっては、可能な限り学校側の希望日時を尊重し、計画していますが、この時期には、6月議会、学校訪問等スケジュールが過密となっています。また、小・中学校の連携を強化することにより、校区に住んでいる子どもたちが、より健やかに成長していくと考え、中学校区単位で開催しています。</p> <p>また、平成23年度より会の後半の進め方を『事前に提出されたテーマに基づき、参加者全員(グループ討議も含む。)で話し合う』ように変更します。</p> <p>今後におきましては、さらに保護者等の参加増を目指し、「地域教育協議会」にも呼び掛けるなど、鋭意努力していきたいと考えています。</p> |
| <p>《事務事業名》 生きた英語教育推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 新居浜には、海外進出の企業、海外の企業との提携企業など、外 | <p>外国語活動並びに国際理解教</p> |

| | |
|--|---|
| <p>国と関わっておられる人が多くおられるはず。英語指導員として活動できる民間の人がボランティアとして活躍できる仕組みをつくる必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的はよい事業ですので、より内容を充実して、継続実施すべきものと考えます。 ・ ALT、日本人英語指導員ともに3名に増員、6人とも優秀な方ばかりでフルに活動していただき大きな成果があがっているとの声が伝わってきます。中学校ではネイティブスピーカーであるALTの生きた英語に触れ、英語を楽しみながら、英語に親しめる、そして話せた、伝わったという達成感が英語学習への意欲を喚起させ、学力向上、コミュニケーション力向上に成果をあげています。 <p>小学校でも日本人英語指導員のきめ細かな教材準備や工夫された指導法で英語への関心と意欲を高め、スムーズに中学英語へつないでいけています。教員への研修、指導も計画的、適切に実施できているようです。今後益々、グローバル化していく時代の中で国際的視野に立てる人材育成の上から予算面で苦勞もあるでしょうが、更にALT、日本人英語指導員の増員を図っていただきたい。</p> | <p>育に資することを目的として、JETプログラムによるALT(外国語指導助手)及び英語の堪能な日本人英語指導員3名を市内29校へ派遣しています。</p> <p>派遣に際しては、各学校から事前に学習指導案を提出するとともに派遣計画を作成し、効果的・計画的に実施しています。</p> <p>児童生徒を対象としたアンケート調査結果においてもALT及び英語指導員によるティームティーチングによる授業を好意的に受けとめており、興味・関心をもって授業に取り組んでいることが分かります。</p> |
| <p>《事務事業名》</p> <p>いじめ・暴力から身を守る学習事業費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 警察、児童相談所などの連携・協力をどう図っていくか。 <p>助けを求める方法を身につけることは大事だが、学校、学級、地域等に対する信頼がなければ、助けを求めることはない。信頼のおける学校、学級、地域、家庭づくりをどう進めるかを一方では取り組んでいく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の意識教育により重点を置くことを望みます。 ・ どんな事件に遭遇するかもしれない不穏な今の社会状況の中で子どもたちに暴力がふりかかった時に、自ら対応する力、声をあげる | <p>CAP(子どもへの暴力防止)プログラムを受講した子どもたちすべてが、いじめや虐待など様々な暴力にあったとき、自分の大切な心とからだを守るための基本的な対処が身につくようになることを願って、継続して実施していきたいと考えています。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>力を育んでいく一助になれるワークショップであれば望ましく、継続すべき事業と思います。</p> | <p>平成23年度は全小学校4年生のクラスにおいて実施予定です。</p> <p>また、保護者や地域の方に対しては、当該事業の重要性を御理解していただき、積極的に保護者や地域の方を対象としたワークショップに参加してもらえよう、学校を通じてお願いしていきたいと考えています。</p> |
| <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いじめや不登校を生まない学校づくり」を学校教育課の最重要課題とし全教職員がきめ細かく真摯に対応推進した結果でしょう。いじめ件数は年々減少、中学生の不登校発生率も全国平均を下回ってきたこと、ご努力を評価します。教職員、保護者に加え地域の方々のお力をいただきながら更に充実した推進を望みます。 <p>中学生の非行、問題行動、暴力事件等も本年は減少してきました。更に関係機関との連携強化を進めつつ未来に生きる子どもたちのため、規範意識育成にみんなで力を合わせ全力で取り組んでいきましょう。</p> | <p>いじめ問題にしても不登校問題にしても、非常にデリケートな問題ですので、個人情報や地域へ発信というのは難しい面もありますが、できる限りの情報発信を行いながら地域の力を適切にお借りすることができるように、今後も各校への指導を行っていきます。特に未然防止に関しては、地域からの情報が大きな力となりますので、社会教育課との連携も図りながら啓発に努めていきます。また、非行、問題行動及び暴力等の更なる減少を目指し、各校において未然防止に努めています。今後も保護者、地域及び関係諸機関との連携・協力を深めな</p> |

| | |
|--|-----------------------|
| | がら、未然防止、早期解決を図っていきます。 |
|--|-----------------------|

担当課：発達支援課

| 学識経験を有する方からのご意見 | 取組状況 |
|--|--|
| <p>《事務事業名》</p> <p>発達支援教育充実費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よい事業ですが、今後は障がい状況や取得スキルに応じたきめ細やかな事業となればよりよいと思います。 ・発達支援準備室からいよいよ発達支援課創設となりました。ここに至るまでのご苦勞、ご努力に敬意を表します。準備が整い、早速に新たな早期教育相談事業実施となり、障がいや発達課題のある子どもたちが身近な地域の中に親子で通園でき、専門的研修を積んだ療育相談員、心理相談員、保健師、先生達から質の高い適切な支援を受けられるようになり、本人、家族が安心して暮らせるようになっていくこと、長年の期待が実現化したことと高く評価します。 <p>本年は月2回の実施ですが、更なる充実を図り、通園日数を一層に増やせるよう推進して下さい。</p> | <p>平成22年10月にこども発達支援センターが開所し、発達支援の中核的機関として、総合相談、発達検査、早期療育、関係機関との連携など、地域全体で支援を行う発達支援システムの構築を進めています。また、宮西小学校で実施していたことばの教室（幼児の通級教室）をセンターに移管し、平成23年4月からは個別療育、小集団療育、SST（ソーシャルスキルトレーニング）、構音訓練を内容とする早期療育通園事業（親子通園事業）に再編して、支援の必要な子どもの早期発見、日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練などの早期療育支援の充実強化に向けた取り組みを進めています。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>《事務事業名》</p> <p>幼稚園特別支援教育充実費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションの推進のためにも特別な事業としてではなく普通のものとして継続実施していただきたい。 ・新規事業として市立幼稚園に在籍する障がいや発達課題のある幼児に生活介助員を配置。就学前からきめ細かな支援が得られることとなり、安心して園生活に溶け込み学習成果を高め、能力向上につながっていくことと評価します。更に私立幼稚園へも支援を拡げていけるよう、進展を図っていければなお一層に意義ある事業になります。 | <p>平成22年度から障がいのある幼児を受け入れ、特別支援教育を積極的かつ継続的に実施する私立幼稚園に対して、特別支援教育事業に要する経費の一部に補助金を交付し、新居浜市内の私立幼稚園における特別支援教育の振興と障がい児の就園機会の促進を図っています。今後は園への定期的な巡回相談や就学相談を継続実施し、支援の必要な子どもや園の先生へのサポートの充実強化を図っていきたいと考えています。</p> |
| <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達支援課の創設により障がいや発達課題のある子どもが一人ひとりのニーズにあった専門性高い支援を地域の中で受けられ、親も子ども安心して学べるようになりました。生き生きと学ぶ中で能力も高まり、自立心も育まれていくことと思います。みんなが輝く明るい共生社会構築を目指し益々特別支援教育の充実を図って行って下さい。 | <p>こども発達支援センターを中心に関係機関との連携を密にししながら、子どもの困り感、就園、就学の心配などについて保護者と一緒に安心して子育てができるように、包括的かつ継続的な支援を行っていきたいと考えています。</p> |

担当課：スポーツ文化課（平成22年度 体育文化課）

| 学識経験を有する方からのご意見 | 取組状況 |
|---|--|
| <p>《事務事業名》</p> <p>体育施設環境整備事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して安全に使えるよう定期的一斉点検も限られた予算内ではありますが、取入れられることを望みます。 ・各施設の老朽化が進み補修、改修を必要とするところが多く、予算との兼ね合いの中で苦慮するところでしょうが、安全性を第一に優先順位で適性に管理運営していただきたい。 | <p>指定管理者で定期的な保守点検がなされており、日常的な安全性は確保されておりますが、指定管理者と連絡を密にし、施設の状況を把握して、補修、改修を行っています。</p> |
| <p>《事務事業名》</p> <p>芸術文化振興事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの学校で実施されることを望みます。 ・子どもの時に受けた感動、高揚感、刺激は将来への感性、創造性を培っていく原点です。限られた予算の中でしょうが、真に価値ある優れた芸術文化を小中学生に提供できるよう、選定に力をいれると共に実施回数を増やせるようご努力下さい。 | <p>文化庁主催の子ども対象の事業の活用について、各小・中学校に働きかける等、より多くの学校で芸術文化が体験できるよう取り組んでいます。</p> |
| <p>《事務事業名》</p> <p>郷土美術館充実事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館ボランティアの育成、また美術館友の会の結成等を通して、利用者を増やす工夫も考えられよう。 ・毎月、何がしかの展示物（展覧会）があるように利用推進をより進めていただきたい。 ・入館者、年々微増でしたが、本年度は積極的なPRへの改善を図った結果が一層増加したことは評価します。企画展の選定では予算上の課題もあるのですが、数年前には何回か日本的に著名な作家の企 | <ul style="list-style-type: none"> ・美術館ボランティアの育成については、登録者に2カ月毎に活動予定表を送付し、個人の都合の良いものを選んで参加してもらっている。主に企画展の受付及び企画展に関する資料の整理等を行っていただいている。 |

| | |
|--|---|
| <p>画展が実現され、感動的な鑑賞を体験でき、多くの市民の好評を得ました。在住の郷土作家に光をあてることも全市民的な文化の向上発展の上から大切なことではありますが、地方に住む私たち市民が、より高い感動を味わい感性を磨くという面から更に優れた作家の企画展もご検討いただきたい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・一般展の開催をはじめ、館蔵品を活用したロビー展を積極的に実施している。 ・市民の文化の向上を図るため、公益財団法人平山郁夫美術館及び新居浜市の主催により、平成23年11月に特別企画展「『平山郁夫展』～次世代への伝言(メッセージ)～」を開催します。 |
| <p>《事務事業名》 広瀬歴史記念館充実事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新居浜についての歴史、文化、自然、伝承、諺、郷土料理、祭りなどを体系的に学べる「新居浜学」づくりをすすめる。それらの核として広瀬歴史記念館を位置付けたらどうか。新居浜についてどれだけ知っているか、それを評価する検定制度を創り上げる。検定で上級をねらうためには、記念館で調べ、学ぶしかない。そうした仕組みを作ってみたらどうだろうか。 ・市民の大多数が、「おらが記念館」だと誇りに思え、集えるものにして頂きたい。そのためには、展示内容や方法の見直し、季節による入替え等も考えていくべきと思います。 ・年々、市内の様々な団体やボランティアグループ、学校、公民館など市民自らが立ち上がって近代化産業遺産に光を当て、学びを深め全国へ熱く発信する活動が活発化しています。そのような中であって展示的、研究的館で良いのか、より意欲的な近代化産業遺産の情報拠点、郷土学習の拠点、発信紹介の支援拠点としての役割を担い得る施設に向かっていたいただきたい。 <p>特別企画展開催について熱心に取り組んでいますが、静的視点から</p> | <p>環境自治体会議「にいほま会議」の開催に合わせて、特別企画展「伊庭貞剛と別子銅山の環境対策」と末岡名誉館長による記念講演会を開催し、100年前の環境対策と、先人の偉業を市民及び全国から来られた方に紹介した。</p> |

のプランニングで歴史的、研究的、学問的展示に落ち着いているようにみられます。立ち位置、趣向を大きく転換し、もっと動的に市民の心に響くように廣瀬翁、伊庭貞剛、先哲の歩み、近代化産業遺産の素晴らしさを伝える方策を検討し、生き生きとした企画展をプランニングしていただけたらと期待します。感動の中からこそ真の誇りや愛着が生まれ、未来へつないでいく力が湧いてくると思うのです。

また特に次代の新居浜市を背負って立つ子どもたちに本市の生い立ち、先人の偉業、近代化産業遺産の価値を未来へつないでいく役割を学校との連携の中で担って欲しいのです。

担当課：学校給食課

| 学識経験を有する方からのご意見 | 取組状況 |
|--|--|
| <p>《事務事業名》</p> <p>給食運営改善事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター方式にするのかどうか。少子高齢化の問題による学校の統廃合化、高齢者施設の増加等との関係をも視野に入れて、考えていく必要がある。 ・そろそろ市全体での学校給食の在り方を再検討すべき時期がきたと感じます。（自校方式からセンター方式への一本化等） ・平成13年、学校給食センター開所時、中学の給食選択率は54.1%、年々上昇し、平成21年度は88%にまでなったことは安全でおいしく信頼される給食が提供されている成果と改革改善のたゆまぬ努力を高く評価します。18の学校給食調理場の厨房施設、設備の老朽化の進む中で更新、修繕の要望が多く厳しい状況でしょうが、不安のない安全な給食提供を第一に優先順位で維持管理に尽力していただきます。食材提供に工夫が図られ、地産地消率40%とよりよく推進されています。食育教育にもつないでください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・第五次長期総合計画の計画後半に給食施設の新築又は改築を盛り込むため、平成23年度中から検討委員会を設置し、自校方式かセンター方式かを含め、色々な角度から検討を開始します。 ・ご指摘のとおり、安全な給食の提供を第一に考え、維持管理に努めています。 <p>また、地産地消については、農業関係者とともに推進に努めます。</p> |
| <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食課を学校教育課に統合し、名実ともに給食教育として考えていくのも良いかと考えます。 ・各校の給食調理場の厨房施設、設備が年々老朽化していく中でセンター統合化への検討をより具体的に推進していく時期に来ていると考えます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備のよりよい改修及び改善のため、統合を検討します。 ・上記に記載 |

担当課：図書館

| 学識経験を有する方からのご意見 | 取組状況 |
|---|--|
| <p>《事務事業名》</p> <p>移動図書館運営事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館の配置場所ごとに読書サークルづくりを進められないか。多分あると思うが、そのサークルの人たちが移動図書館の手伝いをするようにしたらどうだろうか。 ・よい取組なので続けていただきたい。可能なら、回数も増やして実施されることを望みます。 ・平成19年度の評価・点検で移動図書館活用率アップへの努力をとの提言に対し全職員、方策改善に真摯に取り組み、6ステーションの追加、小学校巡回時間の見直し、更に長期入院者、施設入所者など図書館への通館困難な方へのサービスを開始した。きめ細かな優しいまちづくりにつながる対応と高く評価します。様々な改善で貸し出し数も本年度は大幅に増加、数値にも成果は現れています。創意工夫を重ね、いかに住民へのサービスを広め、深めていくか職員全員で知恵を出し合い進化させてください。 | <p>平成22年度、市内の読み聞かせ等のボランティアグループを集めての交流会・研修会を開催しました。移動図書館の手伝いについては人数・活動時間の関係で今後の課題となりましたが、継続して情報交換を行っていきます。</p> <p>今後も定期的に利用状況を検証し、改善を図っていきます。</p> |
| <p>《事務事業名》</p> <p>図書館利用促進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に積極的に市民が集まってくる仕掛けをされており、好ましいと思いますが、貸出カードの登録者数からいうとまだ市民の半数は利用していないことになっていますので、もうひと頑張りして頂きたい。 ・多目的ホール等の利用促進に努めて頂きたい。 ・生涯学習支援施設及び地域情報拠点としての機能を拡充すべく年々積極的に改善を加え、新たな方策も創出しながら市民に親しまれ信頼される図書館に変容しつつあること高く評価します。特に「図書館ま | <p>ブックスタート時や新一年生への図書館カードの発行を行っています。また、関係機関と連携して、講座等を実施し、関連する本のリストを作成する等、普段図書館に来ない人への図書館利用のPRを工夫し、図書館ロビーでは、図書館業務や行事</p> |

| | |
|--|--|
| <p>つり2009」実施等で、子どもから高齢者まで各世代の市民を楽しく魅きつけ、入館者増へ、貸し出し点数増へ、読書人口増へつないでいることは素晴らしいです。</p> <p>多目的ホールの利用も年々充実し、ビジネス支援、医療健康支援、行政支援、お話し会などに活用され市民に役立つ図書館としての機能を果たしつつはありますが、研修、学習施設としてあれだけ環境的に恵まれたホールは数少ないのですから、もっともっと利用度アップにチャレンジしてみてください。平成21年度は青壮年層のグループの青年会議所関係の利用が多くなっていたのは感心しました。</p> | <p>の紹介・報告を定期的の実施しています。</p> <p>郷土出身者の講演会等を実施しました。</p> <p>[多目的ホール利用状況]</p> <p>平成21年度の46回から、平成22年度は73回に増加。</p> <p>平成23年度は、8月に、図書館ロビー正面に「別子銅山コーナー」を新設し、9月、11月及び2月に図書館主催で講座「別子銅山を読む」を、11月に「図書館まつり2011」を予定しています。</p> |
| <p>《事務事業名》</p> <p>学校図書館支援推進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員対象に図書利用の仕方、調べ学習の仕方の研修会を是非やってほしい。 ・自ら調べ、自ら学ぼうとする姿勢は、大人になっても大事なことであり、是非とも継続して頂きたい。 ・学校図書館支援員4名を小中学校図書館へ派遣、2年目を迎え更に大きな成果をあげています。図書館整備、読書指導はもちろんですが、学習への支援は期待していた以上の充実をみせています。支援員の適切な指導の下で資料を選び調べ、レポートにまとめる、自分の意見も表現していく。調べ学習ができるようになり「自ら学ぶ力」の育成に大いに貢献できています。教員と一体となり、研究授業にも参加し、学習の下支えになり授業支援にも力を発揮しています。良きリーダー | <p>平成23年度当初の図書主任会において、学校図書館活用の説明と年間活用アンケートを実施しました。</p> <p>学校教育課の学校図書館活性化推進事業と連携し、教員対象に「学びを支える学校図書館」の研修会、学校図書館を活用した模範授業等を実施しました。</p> <p>また、調べ学習用図書を購入し、学校での授業等に活用している</p> |

| | |
|---|---|
| <p>の下、真摯に研修、学習を積み意欲的に取り組んでいる支援員の活躍ぶりは教員、子どもたちに明るい活力を与えています。不登校児が教室には入れないが、学校図書館へは登校できるという子どもも出てくるまでになっているそうです。成果は予想以上です。更なる増員と拡充を是非に望みます。</p> | <p>ため、団体貸出が増加しています。</p> <p>平成23年度は、緊急雇用創出事業として継続しています。学校図書館を活用した学習・授業支援が広がり、成果が出始めています。</p> |
| <p>その他</p> <p>・職員互いに知恵を出し合い、改革改善を試みつつ新しい企画も創出実現させ「市民に役立つ図書館」に進展させています。益々市民に信頼される図書館になってきています。</p> <p>特に読み聞かせ、お話し会、ブックスタート事業等子育て支援の充実が県内外から高く評価されモデル館のようになっています。全国的にもトップレベルの図書館といっても過言ではないくらいに進展しています。幼児期から本に親しむ習慣の育成に益々力を尽くして下さい。</p> | <p>市民に役に立つ図書館として展示方法や催し物等を工夫し、資料・情報提供の推進及び学習機会の提供に努めます。</p> |

第 2 章

教育委員会活動報告

平成22年度の教育委員会の活動状況

1 教育委員会会議での審議等件数

- (1) 定例教育委員会会議 12回
 (2) 臨時教育委員会会議 0回

2 会議開催時期及びその他の活動状況

| 区分 | 会 議 | | その他の活動 (表彰式等) |
|----|-------------------------|---|---|
| | 教育委員会会議 | その他の会議 | |
| 4月 | 定例会(4/2) | ○四国都市教育長連絡協議会(4/28) | ○第1回小中学校長会(4/12) |
| 5月 | 定例会(5/6) (議案3件) | ○愛媛県市町教育委員会 連合会理事会(5/10) ○「えひめ教育の日」推 進会議平成22年度定 期総会及び市町教育委 員会教育長会議(5/19) | ○学校訪問(5/14～7/6) ○市議会(5/18) ○教育懇談会(5/20～ 7/2) |
| 6月 | 定例会(6/3) (議案7件、報告2件) | | ○市議会(6/7～6/24) ○フランクリン高校来 市交流会(6/18) ○青少年健全育成標語 入賞者表彰式(6/29) |
| 7月 | 定例会(7/8) (議案2件、報告1件) | ○管内教育長会(7/7) ○愛媛県市町教育委員会 連合会定期総会(7/16) | ○新居浜子ども環境サ ミット(7/29) ○企画展「泳げ！ゲン ゴロウ～北添伸夫 古里自然写真展～」 開展式(7/31) |
| 8月 | 定例会(8/5) (議案2件) | | ○小・中学生子ども会 議(8/1) ○夢広がる学校づくり 推進事業審査(8/31) |

| | | | |
|-----|-------------------------------|--------------------------|---|
| 9月 | 定例会(9/2) (議案2件、報告2件) | | ○市議会(9/7～9/24) |
| 10月 | 定例会(10/7) (議案1件) | | ○中学生海外派遣事業 結団式・壮行会 (10/14) ○中学生海外派遣事業 出発式(10/30) |
| 11月 | 定例会(11/5) (議案1件) | ○「えひめ教育の日」推 進大会(11/1) | ○中学生海外派遣事業 帰着式(11/9) ○小・中学校音楽発表 会(11/11) ○小・中学校人権・同 和教育研究大会 (11/24) ○こころのことばコン クール表彰式(11/23) ○市議会(11/30～12/16) |
| 12月 | 定例会(12/2) (報告2件) | | ○地域交流センター新 築落成式(12/12) ○中学生海外派遣事業 報告会(12/18) |
| 1月 | 定例会(1/6) (議案2件) | ○教育委員研修(1/27、28) | ○小中学生科学奨励賞 表彰式(1/15) ○平成23年成人式(1/9) ○企画展「加藤禮子洋 画展」開展式(1/22) ○市議会(1/31) |
| 2月 | 定例会(2/3) (議案2件、報告1件) | | ○市議会(2/21～3/17) |
| 3月 | 定例会(3/4～3/31) (議案13件、報告2件) | | ○北中学校体育館落成 記念式典(3/15) ○中学校卒業式(3/17) ○小学校卒業式(3/24) |

※教育委員会会議については、会議録を新居浜市のホームページに掲載

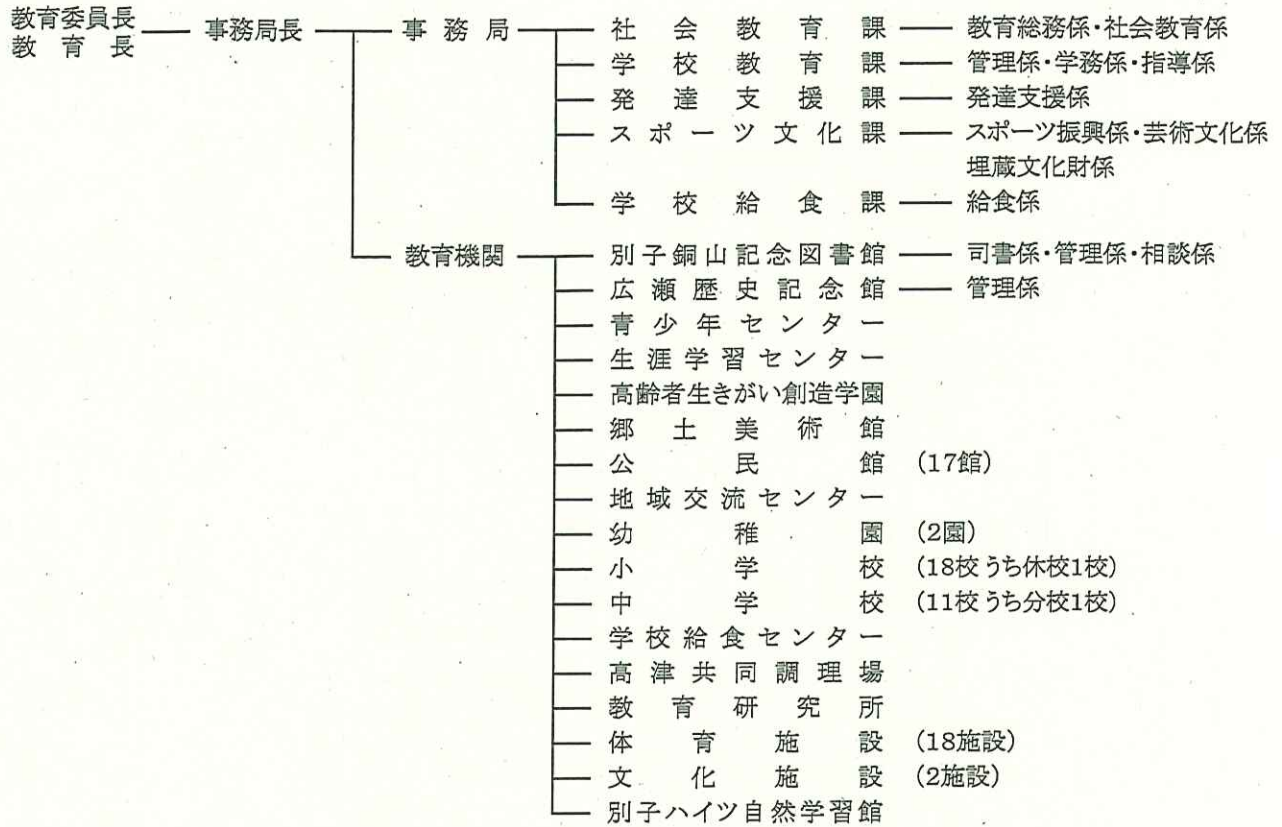
3 教育委員の就任状況（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

| 氏名 | 役職 | 摘要 | 任期満了年月日 |
|--------|----------|-----------------------|-----------|
| 太田 恵理子 | 委員長 | H22.8.9 委員長選任 | H23.12.23 |
| 三木 由紀子 | 委員長職務代理者 | H22.8.9 委員長職務代理者指定 | H25.6.26 |
| 伊藤 嘉秀 | | H22.12.24 新任 | H26.12.23 |
| 宇野 征一 | | H19.12.24 再任 | H23.12.23 |
| 阿部 義澄 | 教育長 | H20.4.1 再任 | H24.3.31 |

参 考 资 料

組 織 図

(平成23年5月1日現在)



職 員 数

(平成23年5月1日現在)

| | 定 数 | 現 員 |
|------|-----|-----|
| 事務局 | 41 | 42 |
| 教育機関 | 72 | 50 |

(事務局現員においては、新居浜市職員定数条例第4条第3号の規定による定数外の職員1名を含む。)

| | 課 所 別 | 職 員 | 臨 時 職 員 | 非 常 勤 職 員 | 委 託 職 員 | 計 |
|------|----------------------|-----|---------|-----------|---------|-----|
| 事務局 | 社会教育課 | 12 | 2 | 50 | 2 | 66 |
| | 学校教育課 | 13 | 1 | 10 | | 24 |
| | 発達支援課 | 7 | | 14 | | 21 |
| | スポーツ文化課 | 7 | 3 | | | 10 |
| | 学校給食課 | 3 | 1 | | | 4 |
| 教育機関 | 別子銅山記念図書館 | 9 | 9 | 6 | | 24 |
| | 広瀬歴史記念館 | 2 | | 4 | 1 | 7 |
| | 青少年センター | 1 | 1 | | | 2 |
| | 生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園 | | 2 | 12 | | 14 |
| | 郷土美術館 | | 2 | 2 | | 4 |
| | 公民館 | 1 | | 69 | | 70 |
| | 幼稚園 | 6 | 4 | 3 | | 13 |
| | 小学校(県費教職員を除く。) | 27 | 4 | 134 | 7 | 172 |
| | 中学校(県費教職員を除く。) | | | 53 | | 53 |
| | 学校給食センター | | 21 | 15 | | 36 |
| | 高津共同調理場 | 4 | 1 | 11 | | 16 |
| | 教育研究所 | | | 1 | | 1 |
| | 計 | 92 | 51 | 384 | 10 | 537 |

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）抜粋

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成23年度（平成22年度対象）新居浜市教育委員会点検・評価報告書

発行 新居浜市教育委員会

編集 社会教育課

お問い合わせ先

〒792-8585 新居浜市一宮町一丁目5番1号

電話：(0897) 65-1300 / Fax：(0897) 65-1306

E-mail：syakyou@city.niihama.ehime.jp

ホームページ：http://www.city.niihama.lg.jp/

発行 平成23年11月